

域・活

いき・いき れんけい

連携

2024年6月発行

愛媛県

特集

愛媛県

心血管疾患を減らす
愛媛県高血圧重症化予防
プログラムの試み



心血管疾患を減らす 愛媛県高血圧重症化予防 プログラムの試み



愛媛県では、ビッグデータから導き出された健康課題である「高血圧」と「心不全死亡」を減らすために、愛媛県循環器病対策推進計画に基づき、「愛媛県高血圧重症化予防プログラム」を策定した。本取り組みについて、愛媛大学大学院医学系研究科循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座の山口修教授と愛媛県医師会の村上博会長にお話を伺った。

[取材日：2024年3月12日] ＊記事内容、所属などは取材当時のものです。



愛媛県医師会
村上博 会長

愛媛大学大学院 医学系研究科
循環器・呼吸器・腎高血圧内科学
講座
山口修 教授

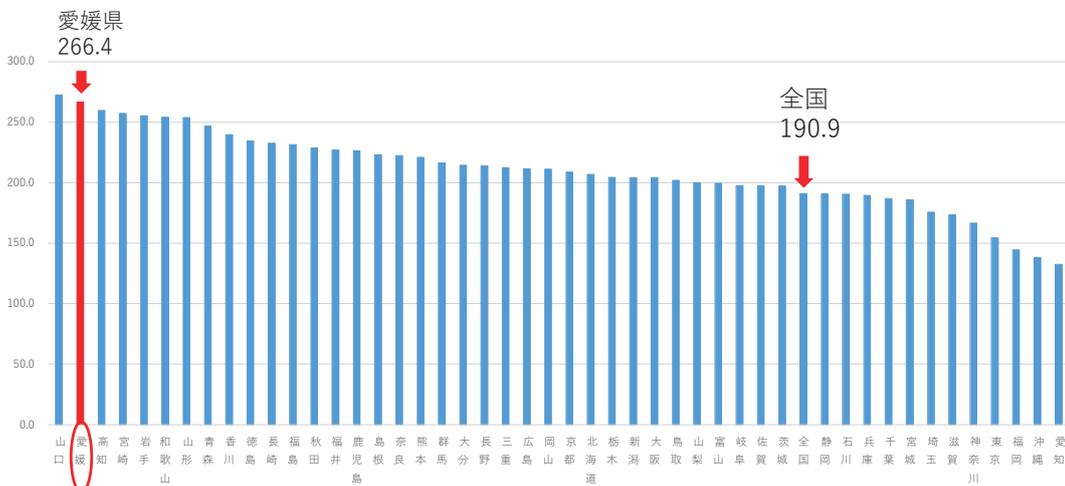
高血圧を愛媛県の健康課題に掲げて

愛媛県は全国でも健康寿命が低く、特に心血管疾患の死亡率が全国トップクラスであることが課題だった。心血管疾患の危険因子である高血圧も全国平均より高いことから、心血管疾患死を減らすために、高血圧を愛媛県全体で取り組む健康課題として捉え、2022年12月に「愛

媛県高血圧重症化予防プログラム」を策定した。

村上会長は、「愛媛県では以前から、各地域の医師会が中心となり、高血圧対策を中心とした健康づくり事業の取り組みを実施してきましたが、県民の健康や血圧に対する意識が緩いことが課題でした。そこで、山口教授が中心となり、県全体の共通認識として、改めて高血圧に取り組もうということになりました」と話す。

■ 心血管疾患（心不全含む）粗死亡率



出典：厚生労働省人口動態統計（令和4（2022）年）

治療が必要な患者さんを 医療機関へつなげる

「愛媛県高血圧重症化予防プログラム」は、特定健診を受診した人のうち高血圧症が重症化して循環器病を発症するリスクが高い人を適切に医療機関につなぐこと、高血圧症で治療中の人のうち、治療中断者と不定期受診者に対して、かかりつけ医と連携して保険者が保健指導を行うことで、適切な血圧管理を行い、循環器病の発症を防止することを目的としている。

具体的には、対象者は特定健診・レセプトデータ等から抽出する。医療機関未受診者、高血圧症未投薬者はI度高血圧(140/90mmHg)以上の者、高血圧症治療中断者・不定期受診者は「通院中の患者で最終の治療日から1年間経過しても治療した記録がない」あるいは「通院中の患者で1年間に治療した記録が3回以内の者」とした。受診勧奨は保険者から、郵送による通知か、電話、個別面談(個別訪問含む)で行い、保健指導は、保健指導が必要と判断された場合に本人およびかかりつけ医の同意を得た上で実施する。

山口教授は、「愛媛県高血圧重症化予防プログラムは、特定健診を受けている方でないと対象者に入れること

ができません。また、愛媛県では健診受診率も低いので、県をあげて健康診断を受けましょうという啓発も行っていきます」と話す。

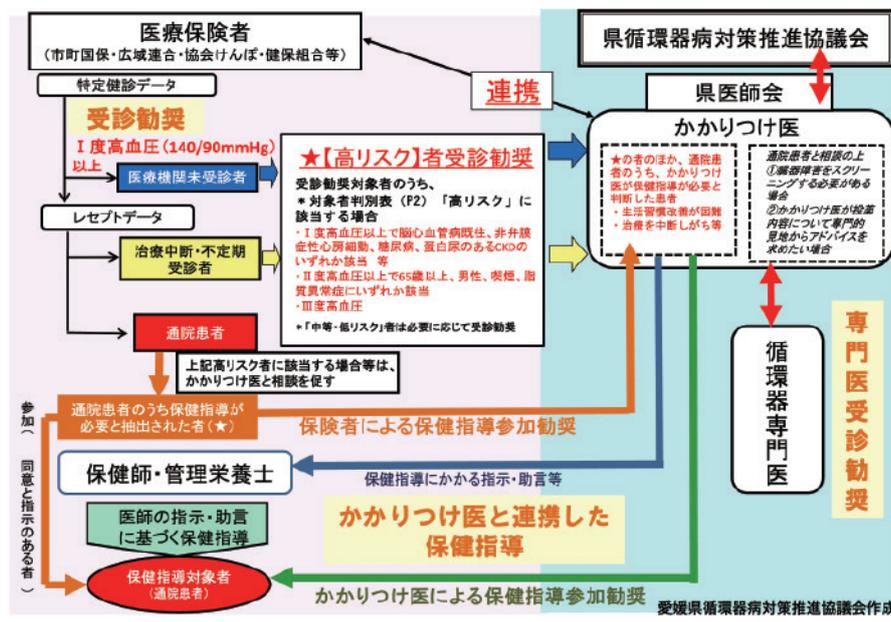
血圧の正常値は 120/80mmHg未満の周知徹底

「愛媛県高血圧重症化予防プログラム」を実施していくために、山口教授と村上会長は各地域を回り、かかりつけ医一人一人に本プログラムの趣旨を説明する機会を設けている。「説明会では、かかりつけ医の先生方がどのように高血圧治療に取り組んでいるのかについても伺いました。そして、熱心に治療に取り組んでいる先生が多くいらっしゃることが分かりました。しかし、患者さんが受診しなければ、医師は何もできません。本プログラムで、治療や指導が必要な患者さんを一人でも多く医療機関につなぐことができれば成果が期待できます。その中で、保健師の果たす役割は大きいと思います」と山口教授。そこで両氏は、かかりつけ医だけでなく、訪問看護師、保健師等が集まる研修会等でも同様の説明を行っている。

一方で、県内でも血圧が高い地域とそれほど高くない

地域があり、各地域の抱える課題や目標設定が異なることも分かった。「宇和島市のように以前から高血圧に熱心に取り組んでいる地域もあります。しかし、実際に市民イベントで宇和島市に行って、高齢女性の血圧を測ったところ、正常値よりかなり高い数値だったのに、その女性が『いつも通り、調子がいい』とおっしゃったのを目の当たりにして、やはり市民の血圧の基準値に対する認識を変えなければ

■愛媛県高血圧重症化予防プログラム フローチャート



いけないと感じました」と山口教授は振り返る。

そこで愛媛県は、市民への啓発活動として、「血圧の正常値は120/80mmHg未満¹⁾」を認識してもらうためのポスターを作成した。山口教授は、「正常な血圧は120/80mmHg未満であって、それ以上は正常とは言えないということを、まず一般の人に認知してもらい、意識改革につなげていきたいと考えます」と語る。

愛媛県の健康寿命の延伸へ向けて

「愛媛県高血圧重症化予防プログラム」は、2040年までに、3年以上の健康寿命の延伸、心血管疾患は全国平均へ改善させることを計画目標としている。

村上会長は、「愛媛県高血圧重症化予防プログラム

は、これまで大学、医師会、県庁で取り組んできましたが、今後さらに啓発等を強化するためには、産業界も入れた産官学での取り組みにも力を入れていくことが大事だと思います」と話す。

山口教授は、「取り組みの結果が数値として見えてくるのは、まだ5年先、10年先になると思いますが、高血圧は治療をすればコントロールできます。これは糖尿病も脂質異常も同じで、適切な治療を行って生活習慣病をコントロールすれば、大きな病気を防ぐことができ、健康寿命を延ばすことができます。それが私たちのめざすべきところだと思っています」と展望を語る。

〔引用文献〕

1) 高血圧治療ガイドライン 2019 <https://www.jpnh.jp/guideline.html>

国民健康保険と全国健康保険協会の健診・レセプトデータ等のビッグデータの分析結果から、高血圧が本県の大きな健康課題であることがわかりました。これを踏まえ、山口教授のご指導の下、適切な血圧管理により循環器病の発症を予防し、県民の健康寿命の延伸を図ることを目的とした「愛媛県高血圧重症化予防プログラム」を令和4年12月に策定しました。

今後、県内全市町に当該プログラムの導入を進め、未治療者に対する受診勧奨やかかりつけ医と連携した保健指導等に取り組みたいと考えています。

高血圧は、長期にわたる適切な管理が重要であることから、県、市町、医療機関等が連携して、県民の意識を高め、生活習慣の改善、特定健診の受診率向上及び適切な治療の継続に重点的に取り組むとともに、引き続き、関係機関と連携・協力しながら、地域の課題に応じた循環器病対策を進めていきたいと考えています。



愛媛県庁
河野 英明 健康衛生局長